セミナー

ミーティング

琉球太鼓（エイサー）

家族が変われば依存症本人も変わる

家族にも回復の場所が必要です

相模原ダルク家族会

薬物・アルコール・ギャンブル依存症

家　族　会

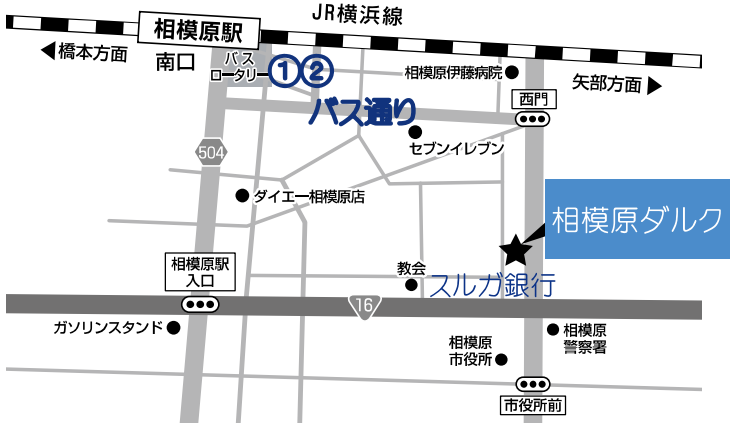
目的　家族自身の回復と情報交換

内容　勉強会と体験の話し合いなど

日時　毎月第３土曜日　午後１時半～５時

場所　相模原ダルク4階・デイケアセンター
（下図参照）

会費　１家族2,000円/月



車・・・・国道16号線横浜方向へ
相模原署前を左折し左側３軒目

バス・・南口バスターミナルより①か②に乗り、
４つ目のグリーンプラザ下車

徒歩・・南口からバス通りを直進し西門交差点を
右折後、約２０分。右手の白いビル

５階建ての白い建物の４階。１階は「鮨処そう」

＜家族会の連絡先＞

〒252-0231

神奈川県相模原市中央区相模原6-23-9-2F

一般社団法人　相模原ダルク

☎ ０４２-７０７-０３９１

依存症という病気は
家族を巻き込んで行く

依存症という病気を
正しく理解することがスタート

家族が家族会に出続けることによって
依存症本人の回復率が上がって来る

世話人からの一言

一人じゃありません！

こんにちは。私自身の体験の中からの一言です。
私たち家族は、十年近くにわたって、「今度こそは」と息子を信じては、数ヵ月後には惨めに裏切られる日々を繰り返してきました。家族には笑顔が無くなり、身も心も追いつめられていました。

「助けて下さい！　私たち夫婦にはもう勘当するしか為す術がない！」ある福祉センターに必死で訴えたのは三年前の夏のことでした。その年の暮れに、またも失踪を繰り返した息子は、二ヵ月後に自ら、真冬の街から電車に乗り、ダルクに向かいました。「行かない！」と言っていたダルクに。
その半年余の間に何があったのか？

私たち家族は、家族教室で依存症について学び、息子への対応を身につけ、実践していく中で、幾人もの家族の仲間ができ、応援してもらいました。
家族自身が変わり、それが息子に回復のきっかけを与えたのです。相談する相手も無く、孤立し、真冬の街を、さまよっていた息子の背中をひと押ししたのです。絶望のどん底で。

家族の中に依存症者を抱え、何年もの間苦しんで来られたあなた。一人じゃありません！家族同士、手を取り合い、助け合いましょう。依存症者を回復のプログラムに繋げるために。そして、笑顔を取り戻すために。
大切なのは今であり、これからです。

家族会のご案内

相模原ダルク家族会は、家族の中に依存症者を抱えて、悩み苦しみ、困り果てている方たちのための家族の自助グループです。

相模原ダルク（回復支援施設）に入所中の依存症者の家族の方、又は入所を希望し相談されておられる家族の方など、相模原ダルクに助けを求めておられる家族が、相模原ダルク家族会に参加しています。

毎月一回、相模原ダルク・デイケアセンターで家族会を開きます。講師を招いての依存症の勉強会（セミナー）を続けています。依存症という病気について正しく理解し、適切な対応法を学び、家族自身の心身の回復を目指しています。

同時に、相模原ダルクのスタッフとの個人面談も行われます。

勉強会の後、家族の皆さんで、体験の話し合い（ミーティング）を行います。それぞれの体験を語り合うことによって、共感による安心、情報交換による助け合いなど、分かち合いのひと時を過ごします。

毎月の家族会の開催日は相模原ダルクのホームページに掲載されます。
また、家族会会員には次回と次々回の家族会の開催日と、前回の報告をまとめた「お知らせ」を郵送しています。

参考図書

「拘置所のたんぽぽ」
近藤恒夫　双葉社　1400円＋税
（ダルク創設者の体験談とダルク創設の歴史）

「アルコール・薬物・ギャンブルで悩む
家族のための7つの対処法　CRAFT」
アスク・ヒューマンケア　1000円＋税
（家族教室のテキストとして活用されている）

「JUST FOR TODAYⅢ」
東京ダルク支援センター　500円
（本人の体験談と家族へのアドバイス
　全国ダルク所在地付）

相模原ダルクについて

依存症回復支援施設です。薬物・アルコール・ギャンブルなどで生活がままならなくなった人が回復するために、寮（夜間の居場所）とデイケア（日中の生活訓練）があり、家族支援や啓発行動も行います。ダルクは全国約80か所にネットワークを持ち、連携を取りながら回復支援事業に取り組んでいます。

一般社団法人相模原ダルク
代表理事　田中秀泰

ホームページ　https://s-darc.com
毎日の活動の様子や社会復帰に向けた様々なプログラムの内容を掲載しています。